

播陽証券 =注目・外株銘柄＝ (2026年1月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

- P1【航空宇宙】 ロケット・ラボ(RKLB)
P2【電子部品】 ルメンタム・ホールディングス(LITE)

<継続>

- P3【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
P5【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
P6【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOGL)
P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
P9【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
P10【半導体】 ブロードコム(AVGO)
P11【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)
P12【ソフトウェア】 オラクル(ORCL)
P13【ITサービス】 IBM(IBM)
P14【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)
P15【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)
P16【金融】 JPモルガン・チェース(JPM)
P17【フィンテック】 ソーファイ・テクノロジー(SOFI)
P18【通信】 ベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)
P19【製薬】 ファイザー(PFE)
P20【電力】 コンステレーション・エナジー(CEG)

(株価データ、株価指標は現地2025年12月26日現在)

<新規>

- スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専業企業
光部品・商用レーザーの米国大手

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
ソフトウェア世界最大手
デジタルIT機器の設計・販売大手
インターネット検索世界最大手
インターネット小売世界最大手
SNS運営世界最大手
米電気自動車(EV)大手
企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
米ロジック半導体大手
データ管理ソフト世界最大手、クラウド市場で大躍進
長年の連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
動画配信の世界最大手
防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
総合金融サービス最大手
SB出資の学生・住宅ローンを提供するグロース企業
米携帯電話加入件数首位の通信大手
コスト削減計画を推進中の米製薬大手
米国で原発を運営する最大手企業

社名(ティックマーク)

ロケット・ラボ(RKLB)

上場市場

ナスダック

セクター

航空宇宙

スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専業企業

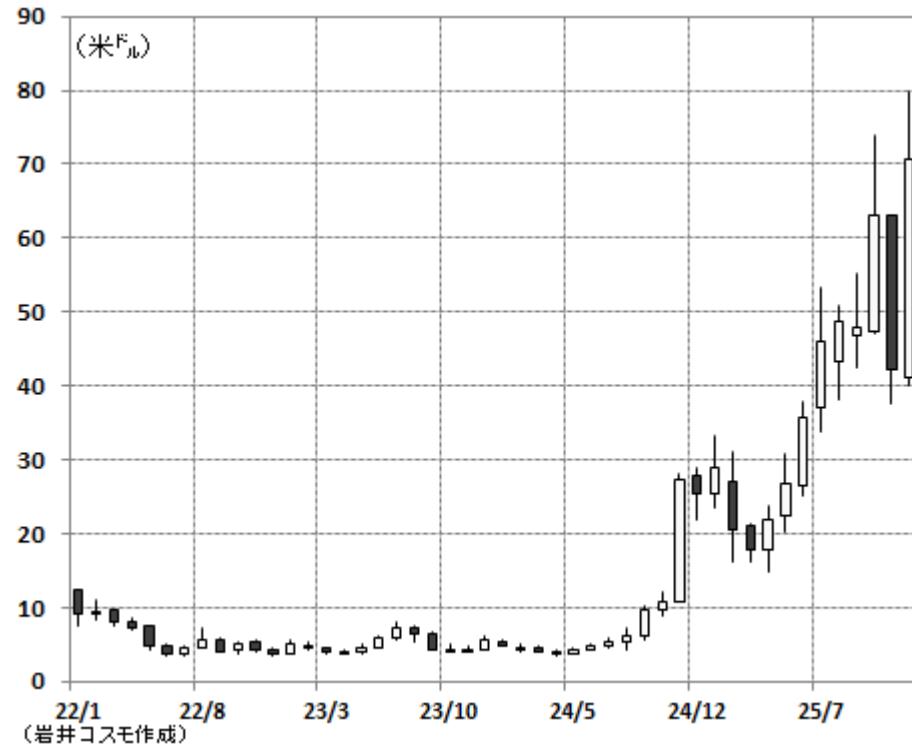
会社概要

スペースXの有力対抗馬と目される、ロケットの打ち上げから衛星製造、宇宙空間での運用までを一貫して手がける宇宙專業メーカー。主力である小型ロケット「エレクトロン」は米国で高い打ち上げ頻度を誇る一方、軍事用衛星・機材を手掛けるジオスト社やレーザー通信端末製造のマイナリック社を25年に買収発表した。人工知能やレーザー通信等の衛星コンポーネントを内製する垂直統合型ビジネスモデルが特徴。

注目ポイント

□宇宙システム部門の躍進と大型受注の獲得: 売上の約7割を占める宇宙システム部門が売上を牽引、またジオストやマイナリックの買収で防衛・通信分野を強化する。受注残は11億ドルを超え、さらに米宇宙開発庁(SDA)から過去最大となる約8.2億ドル規模の衛星開発・製造契約を獲得、中長期的な収益見通しが大きく改善した。

□次世代ロケット開発: 再利用型の中型ロケット「ニュートロン」の開発が進展し、特徴的な開閉式フェアリングの試験を完了。同機は米宇宙軍の国家安全保障打ち上げ(NSSL)対象に選定され、今後5年間で最大56億ドルの契約枠を争う資格を得た。26年の初打ち上げに向け、スペースXに対抗し得る唯一の商用・軍事用企業として期待が高い。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	70.65 (12/26)
52週高値(日付)	79.83 (25/12/24)
52週安値(日付)	14.77 (25/04/07)
時価総額	410億ドル 6兆4,170億円
株価変化率(%)	99.7 (過去6ヶ月間) 159.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	— (倍)
株価売上高比率	65.4 (倍)
PBR	27.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-23.2 (%)
株式ペーテ	1.76 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	245	16	-178	赤継	-183	赤継	-0.38	0.00
2024/12	436	78	-190	赤継	-190	赤継	-0.38	0.00

四半期業績

2024/Q3	105	—	-52	—	-52	—	-0.10	0.00
2025/Q3	155	48	-59	赤継	-18	赤継	-0.03	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ルメンタム・ホールディングス(LITE)

上場市場

ナスダック

セクター

電子部品

光部品・レーザーの米国大手、AI向け高速光通信で躍進

会社概要

光学部品や商用レーザーの設計・製造する米国大手。光通信の先駆者であるJDSユニフェーズを前身とし、2015年の分社化を経て、光学技術に特化した独立企業として再スタートを切った。現在はクラウド・ネットワーキングと産業・民生の2部門を主軸とし、生成AI向け高速トランシーバーの供給やアイフォン用3Dセンシング、自動運転向けLiDAR用光源等、多岐にわたる成長産業の基盤を支えている。

注目ポイント

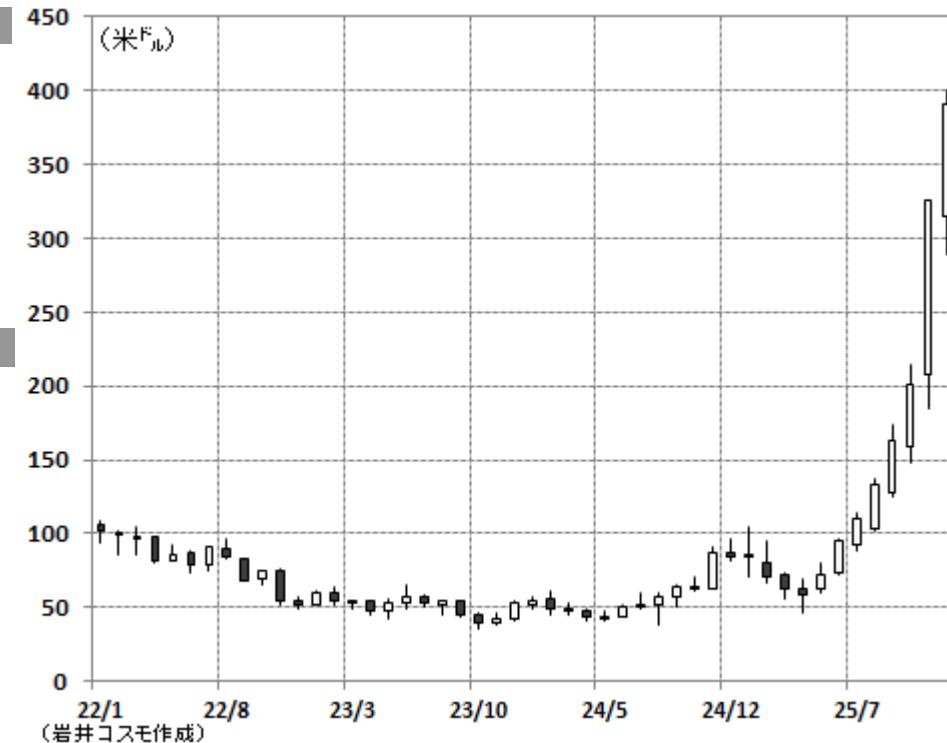
□AIインフラ需要の急拡大で恩恵: 生成AI市場の爆発的な成長に伴う超高速通信需要を捉え、収益の約6割をAI関連が占める。クラウド・ライト社の買収によりAIサーバー同士を超高速で繋ぐ光通信部品の供給能力を飛躍的に高めた。得意先に光伝送装置大手のシエナやグーグルを抱え、継続的な大量受注が業績全体を押し上げている。

□光電融合技術の中核: データ伝送時の発熱と消費電力を極限まで抑える「光電融合」技術で中核を担い、特にチップ近傍で光接続を行う共同パッケージ光(CPO)に不可欠な超高出力CWレーザーで圧倒的シェアを誇る。光の回路を半導体に埋め込んだエヌビティア製品にも採用され、従来比80%の低電力化を実現する光源を提供する。

株価データ	
株価(米ドル)	390.77 (12/26)
52週高値(日付)	401 (25/12/24)
52週安値(日付)	45.67 (25/04/04)
時価総額	277億ドル 4兆3,379億円
株価変化率(%)	312.4 (過去6ヶ月間) 363.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	274.0 (倍)
株価売上高比率	14.8 (倍)
PBR	35.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	13.4 (%)
株式ペーパー	2.03 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)



株価チャート (2022年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	1,359	-23	-434	赤継	-547	赤継	-8.12	0.00
2025/06	1,645	21	-180	赤継	26	黒転	0.37	0.00

四半期業績

2025/Q1	337	—	-82	—	-82	—	-1.21	0.00
2026/Q1	534	58	7	黒転	4	黒転	0.05	0.00

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

エヌビディア(NVDA)

上場市場

NASDAQ

セクター

半導体開発

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカー。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカーで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが88%、ゲーム市場向けが9%、プロ向けの視覚化技術が1.4%、自動車向けが1.3%、OEM&IPが0.3%(25年1月期)。

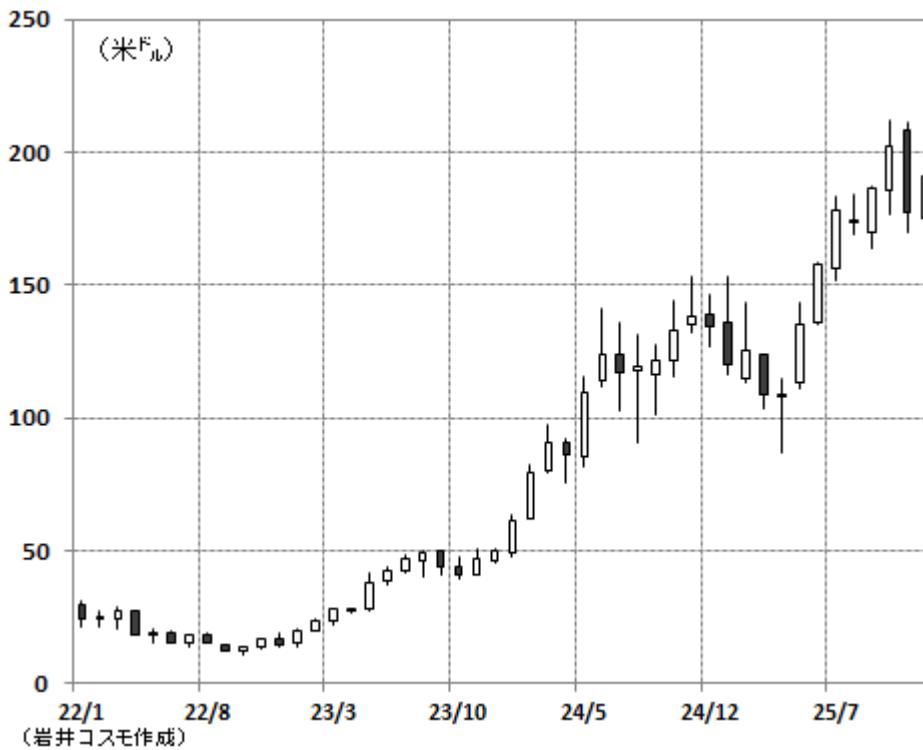
注目ポイント

□**AI半導体で主導権**: 8-10月期決算は売上高が前年同期比62%増の570億ドルと過去最高を更新、粗利益率も高水準を維持した。

10月のGTCでファンCEOは、主力ブラックウェルと次世代ルーピンの26年末までの累計収益が5,000億ドルを超える驚異的見通しを提示。

学習用に加え推論向け需要も急拡大しており、AIインフラの必須品として他社の追随を許さない圧倒的な支配力は当面揺るがない。

□**中国へAI半導体出荷を再開へ**: 12月の報道によれば、中国向け先端AI半導体「H200」の出荷を2026年2月中旬(春節前)より開始する計画。トランプ米政権が認可する考えを表明して以来初の出荷となる見込みで、中国市场における収益回復が期待される。



株価チャート (2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	190.53 (12/26)
52週高値(日付)	212.15 (25/10/29)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)
時価総額	4兆6,299億ドル 724兆9002億円
株価変化率(%)	20.8 (過去6ヶ月間) 39.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	48.2 (倍)
株価売上高比率	24.8 (倍)
PBR	38.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	17.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	107.4 (%)
株式ペーテ	1.89 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/01	60,922	126	32,972	681	29,760	581	1.19	0.016
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034

四半期業績

2025/Q3	35,082	—	21,869	—	19,309	—	0.78	0.010
2026/Q3	57,006	62	36,010	65	31,910	65	1.30	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

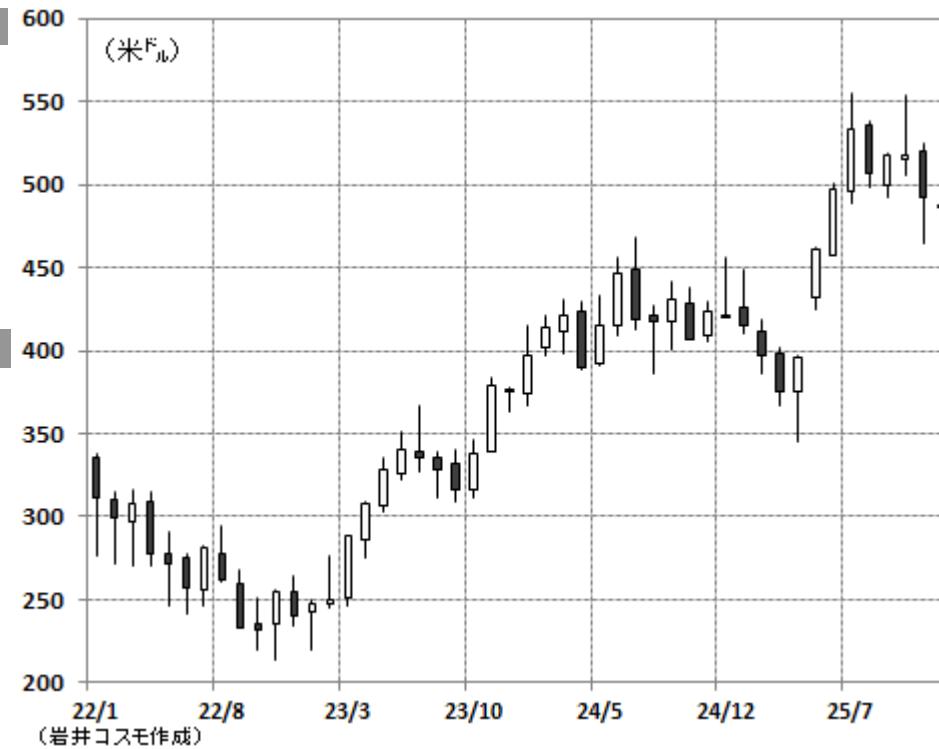
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウンドウズ(OS: 基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: MSはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位。アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。ワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理のクラウド「アジュール」、リンクイン等が成長をけん引。クラウド需要のひつ迫が続き、AI向けデータセンターを中心にクラウドインフラの供給能力の拡充を推進中。

□**オープンAIの筆頭株主**: オープンAIの組織再編が10月に完了、MSはオープンAIの筆頭株主(27%保有)で2032年までの提携延長、巨額の資金提供を見返りに「ChatGPT」等の自社製品組込を継続する。7～9月期の「アジュール・他クラウドサービス」部門は39%増(為替変動除く)と高成長を維持。製品全体でのAI機能利用者は9億人を突破した。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	487.71 (12/26)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時価総額	3兆6,248億ドル 567兆5420億円
株価変化率(%)	-1.7 (過去6ヶ月間) 13.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.5 (倍)
株価売上高比率	12.3 (倍)
PBR	10.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.75 (直近年率)
配当成長率(%)	10.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.2 (%)
株式ペーテ	1.03 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高(百万ドル)	前同比(%)	営業利益(百万ドル)	前同比(%)	当期利益(百万ドル)	前同比(%)	1株利益(ドル)	配当(ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績

2025/Q1	65,585	—	30,552	—	24,667	—	3.30	0.75
2026/Q1	77,673	18	37,961	24	27,747	12	3.72	0.83

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

アップル(AAPL)

上場市場

NASDAQ

セクター

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォーン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□**アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を4月1日より提供開始した。ただより高度な分析機能は米国でも未提供で競合のオ-プンAIやグ-グルに後れを取っている。6月開催の年次開発者会議では、電話やフェイスタイムのライブ翻訳機能が発表された。

□**クリスマス商戦に強気**: アップルは10-12月期売上高が前年同期比10-12%増(市場予想6%超)と好調な見通しを示唆。同四半期のアイフォーン売上は2桁増と過去最高を見込む。7-9月期の売上高実績は1025億ドル(7.9%増)で予想を上回った。9月に「アイフォーン17」シリーズを販売開始、初めて薄型「アイフォンエアー」を投入した。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	273.4 (12/26)
52週高値(日付)	288.6 (25/12/03)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時価総額	4兆0,399億ドル 632兆5201億円
株価変化率(%)	36.0 (過去6ヶ月間) 7.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	36.6 (倍)
株価売上高比率	9.8 (倍)
PBR	54.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.38 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	171.4 (%)
株式ペーテ	1.09 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46

四半期業績							
四半期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2024/Q4	94,930	—	29,591	—	14,736	—	0.97
2025/Q4	102,466	8	32,427	10	27,466	86	1.85

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

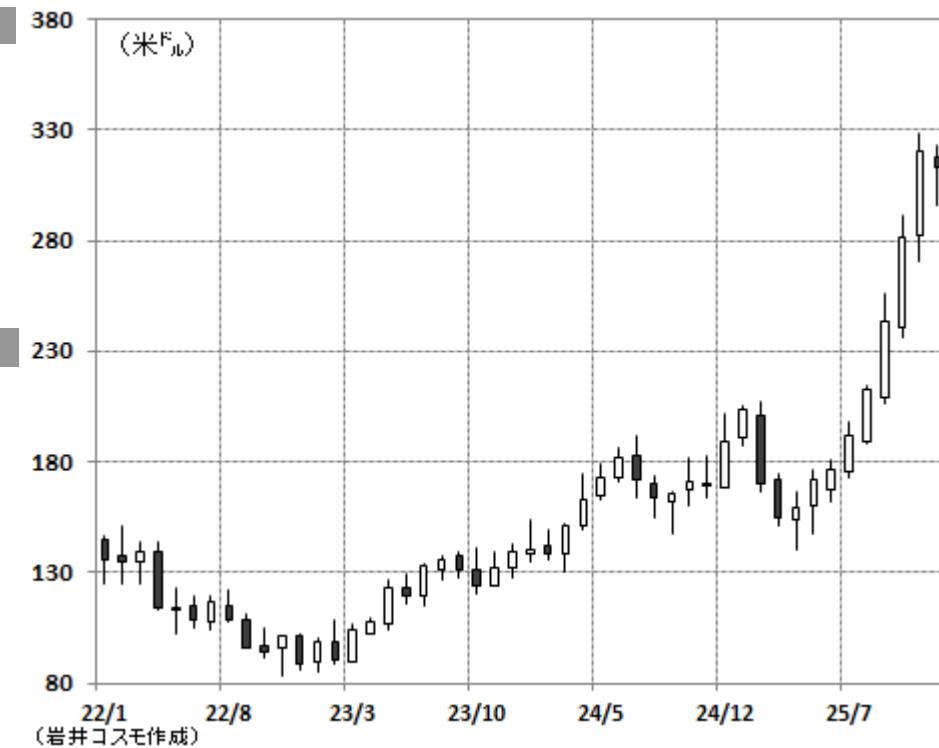
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,167人(25年9月末)。

注目ポイント

□**生成AI「Gemini 3」が11月に始動**: 前回7-9月期決算では、検索やワクスペースへの即時統合が進み、検索売上は15%増と加速した。クラウド部門もAI特需を取り込み数十億ドル規模へ急成長、全社利益を牽引した。サブスク契約は3億件を突破し、ロボタクシーやウェイモの東京展開も進めており成長余地は大きい。11月には推論速度と精度を飛躍させた最新生成AI「Gemini 3」をローンチし、好評を博している。

□**バーチャルが新規購入**: 著名投資家バフェット氏率いるバーチャル・ハサウェイによる同社株の新規購入が11月に判明。強固な財務基盤と検索事業の優位性が再評価された格好。12月22日にエネルギーインフラ会社のインターセクトの買収を発表、自社AIインフラを電力供給面で強化する。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	313.51 (12/26)
52週高値(日付)	328.81 (25/11/25)
52週安値(日付)	140.53 (25/04/07)
時価総額	3兆7,916億ドル 593兆6470億円
株価変化率(%)	75.6 (過去6ヶ月間) 62.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	36.0 (倍)
株価売上高比率	9.9 (倍)
PBR	9.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.27 (直近年率)
配当成長率(%)	38.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.5 (%)
株式ペーテ	1.04 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高(百万ドル)	前同比(%)	営業利益(百万ドル)	前同比(%)	当期利益(百万ドル)	前同比(%)	1株利益(ドル)	配当(ドル)
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
2024/12	350,018	14	84,293	33	100,118	36	8.04	0.60

四半期業績

2024/Q3	88,268	—	28,521	—	26,301	—	2.12	0.20
2025/Q3	102,346	16	31,228	9	34,979	33	2.87	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

アマゾン・ドット・コム(AMZN)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネット小売

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

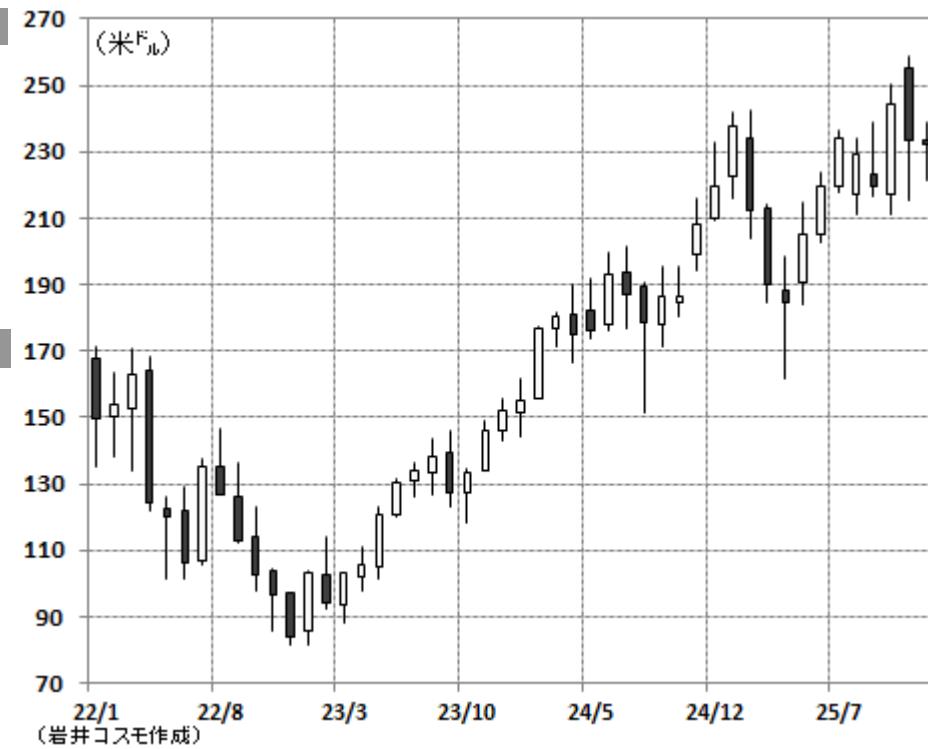
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超える、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ AWSが再加速: 7-9月期決算は、AWS(クラウド)事業が前年同期比20%増収(330億ドル)と、市場予想(18%増)を上回り22年末以来の高い伸び。会社全体の売上高も13%増の1802億ドルで予想を上回った。広告事業は24%増(177億ドル)と好調維持。オンラインストアも10%増収となった。一方、AI関連の投資増で設備投資は61%増(342億ドル)と過去最高となり、増加基調が続く見通し。

□ AI事業の貢献期待: CEOはAI事業の勢いを強調、小売アプリのAIチャットボット「ルーファス」が年100億ドルの追加売上をもたらすと試算。企業向けAI基盤「ベッドロック」も主要収益源になるとの見方を示した。本部の人員削減にも着手、更なる収益性改善を目指す。



株価チャート (2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	232.52 (12/26)
52週高値(日付)	258.59 (25/11/03)
52週安値(日付)	161.56 (25/04/07)
時価総額	2兆4,857億ドル 389兆1843億円
株価変化率(%)	4.1 (過去6ヶ月間) 3.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.8 (倍)
株価売上高比率	3.6 (倍)
PBR	6.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.3 (%)
株式ベータ	1.28 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル) 配当 (ドル)
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90 0.00
四半期業績							
2024/Q3	158,877	—	17,411	—	15,328	—	1.43 0.00
2025/Q3	180,169	13	17,422	0	21,187	38	1.95 0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

メタ・プラットフォームズ(META)

日々30億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

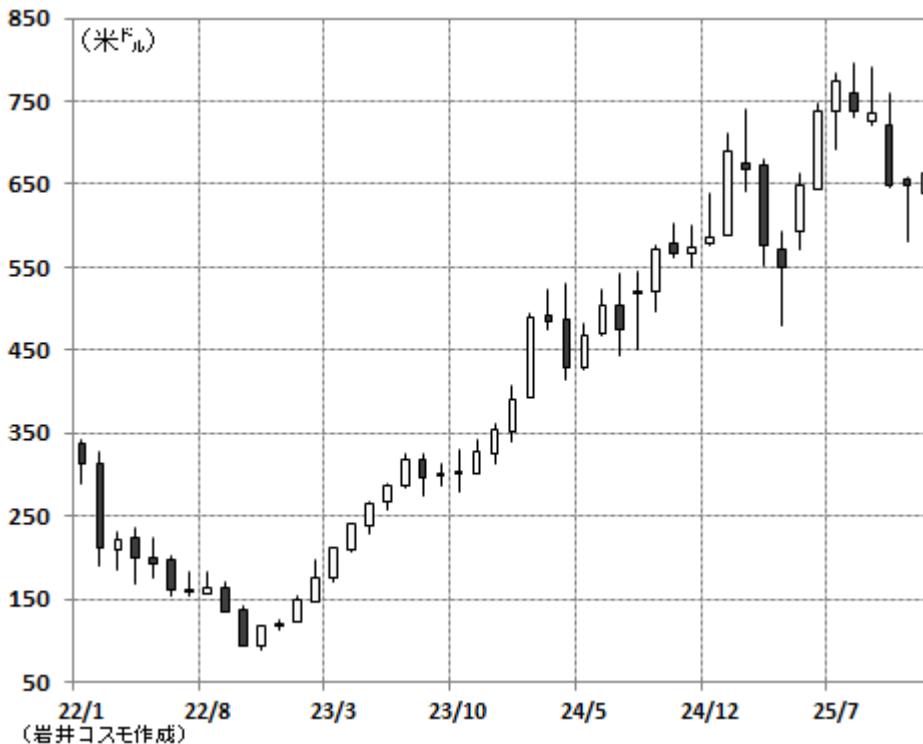
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラムなども含む)は全世界で35.4億人(25年7-9月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は78,450人(25年9月末時点)。

注目ポイント

□AI活用で增收も、投資負担増: 7-9月期の前年同期比・增收率は+26%と高成長を記録した。AI活用による広告性能の向上を背景に、広告単価が+10%、広告表示回数も+14%と好調を維持。AIアシスタント「Meta AI」の月間利用者は10億人を超えた。一方、AIインフラ投資が響き、営業利益率は40%と前年同期(43%)から低下した。

□スマートグラスが次世代の柱へ: レイバン・メタのスマートグラスが「実需フェーズ」に入り、想定以上の売れ行きと報じられた。他方、AI開発ではハーパーソナル超知能へ向け、25年設備投資額を700億-720億ドルに引き上げ、26年も大きな伸びを見込むなどその負担に懸念を持たれた。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	663.29 (12/26)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	479.89 (25/04/21)
時価総額	1兆6,722億ドル 261兆8163億円
株価変化率(%)	-9.6 (過去6ヶ月間) 10.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	23.2 (倍)
株価売上高比率	8.8 (倍)
PBR	8.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.32 (直近年率)
配当成長率(%)	5.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.6 (%)
株式ペータ	1.22 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高(百万ドル)	前同比(%)	営業利益(百万ドル)	前同比(%)	当期利益(百万ドル)	前同比(%)	1株利益(ドル)	配当(ドル)
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	2.00

四半期業績

2024/Q3	40,589	—	17,350	—	15,688	—	6.03	0.50
2025/Q3	51,242	26	20,535	18	2,709	-83	1.05	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

テスラ(TSLA)

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。24年のEV納車台数は前期比1%減の179万台。CEOのイーロン・マスク氏はトランプ大統領と関係性が深く、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカリスマ経営者として知られる。S&P500種指数採用銘柄。

注目ポイント

□マスク氏企業経営に専念: マスク氏の政治発言等への懸念や競争激化の中、25年7~9月期は記録的な納車台数(約49.7万台)を達成。マスク氏はDOGE業務を終了(DOGE自体も11月までに解散)し企業経営に専念、5年後もCEO続投見通し。6月にトランプ大統領と減税法案で口論、袂を分かつ。自動運転の規制緩和のみが成果に。

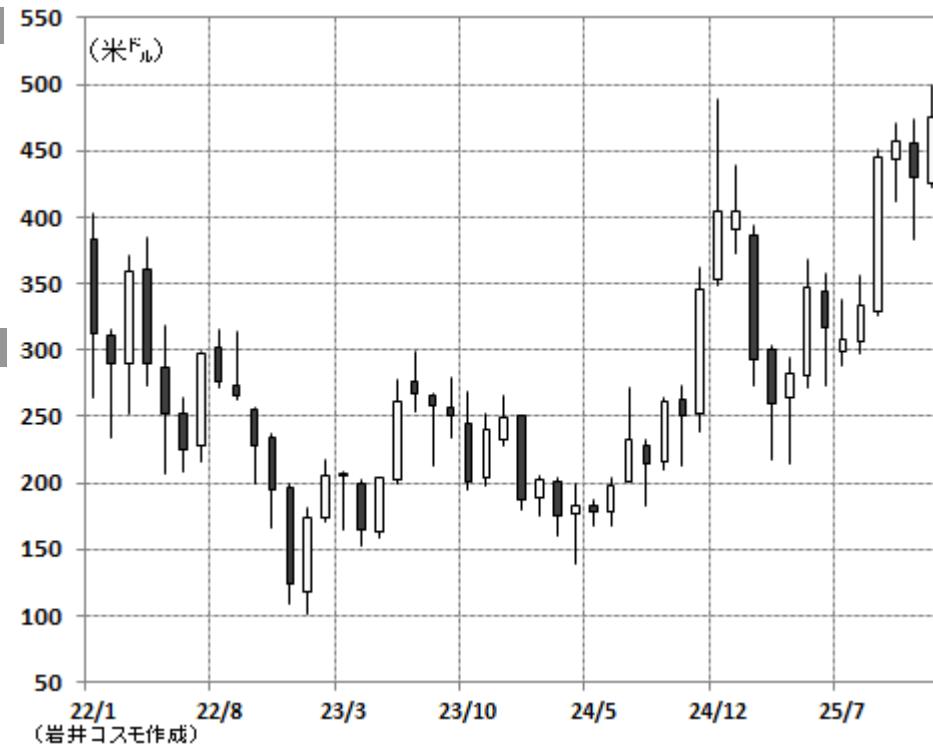
□AI・ロボタクシー投資を拡大: 7~9月期決算は売上高過去最高も、調整後1株利益は予想を下回った。米EV補助金失効など需要軟化に対応し廉価版を発表。一方、AI・ロボット投資の大幅増を計画。ロボタクシーは25年末にオース汀の無人実証走行を開始、今後8~10都市圏への展開を目指す。ロボタクシー専用車は26年第2四半期の生産開始予定。

上場市場

ナスダック

セクター

自動車



株価チャート (2022年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00

四半期業績

2024/Q3	25,182	—	2,717	—	2,173	—	0.62	0.00
2025/Q3	28,095	12	1,624	-40	1,373	-37	0.39	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ブロードコム(AVGO)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

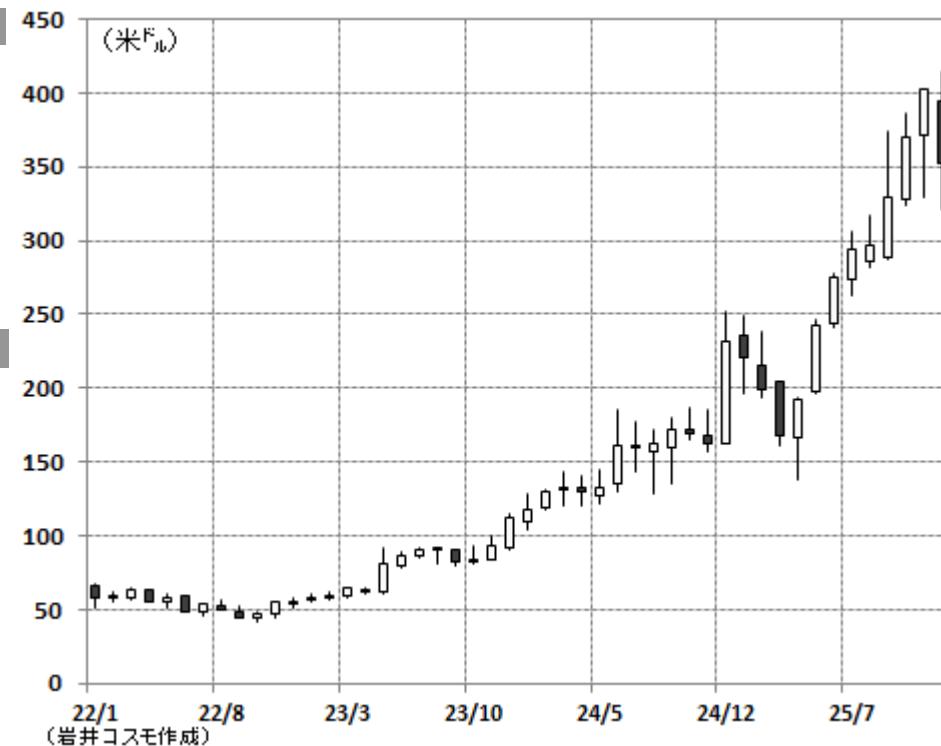
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□**カスタム半導体等のAI半導体を供給**: 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバー同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□**AI半導体の顧客増加で業界優位に**: カスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は、8-10月期に前年同期比74%増の64億ドルを記録、11-1月期は82億ドルを見込む。会社側では26年度のAI半導体の成長率は25年度を上回り加速するとの見方。オーブンAIとの大規模提携に加え5社目の顧客も獲得し、今後18ヶ月のAI関連受注残高は730億ドルに達している。



株価チャート (2022年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	352.13 (12/26)
52週高値(日付)	414.6 (25/12/10)
52週安値(日付)	138.11 (25/04/07)
時価総額	1兆6,695億ドル 2,61兆4,006億円
株価変化率(%)	30.7 (過去6ヶ月間) 45.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	65.9 (倍)
株価売上高比率	26.0 (倍)
PBR	20.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.74 (直近年率)
配成長率(%)	11.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.0 (%)
株式ペーテ	2.04 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
2025/10	63,887	24	25,484	89	23,126	292	4.77	2.360

四半期業績

2024/Q4	14,054	—	4,627	—	4,324	—	0.90	0.530
2025/Q4	18,015	28	7,508	62	8,518	2	1.74	0.590

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

アドバンスト・マイクロ・デバイス(AMD)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体開発

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

会社概要

1969年設立の老舗半導体メーカー。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専業企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□**好決算と強気見通し**: 7-9月期決算は売上高がデータセンター・PC向けがけん引役となり、前年同期比36%増の92億ドルと過去最高、純利益も61%増と急拡大した。11月11日の投資家説明会ではAI計算機器市場が2030年までに1兆ドルへ拡大するとの見通しを示し、AI分野でのシェア拡大に向けた新戦略を発表した。

□**オープンAIと6GW規模の提携**: 最新AI半導体「MI350」の出荷が本格化。10月にはオーブンAIと、次世代機「MI450」を含む6ギガワット規模のGPU導入で戦略的提携を発表した。契約は数百億ドル規模と見られ、巨大なAI需要を確実に取り込んでいる。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)	
株価(米ドル)	214.99 (12/26)	実績PER	103.2 (倍)
52週高値(日付)	267.05 (25/10/29)	株価売上高比率	10.9 (倍)
52週安値(日付)	76.49 (25/04/08)	PBR	5.8 (倍)
時価総額	3,500億ドル 54兆8,015億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
株価変化率(%)	49.5 (過去6ヶ月間) 71.7 (過去1年間)	配成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	5.6 (%)	株式ペーテ	1.65 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク) _____

オラクル(ORCL)

上場市場

ニューヨーク

セクター

基盤ソフトウェア

データ管理ソフト世界最大手、インフラクラウド市場で大躍進

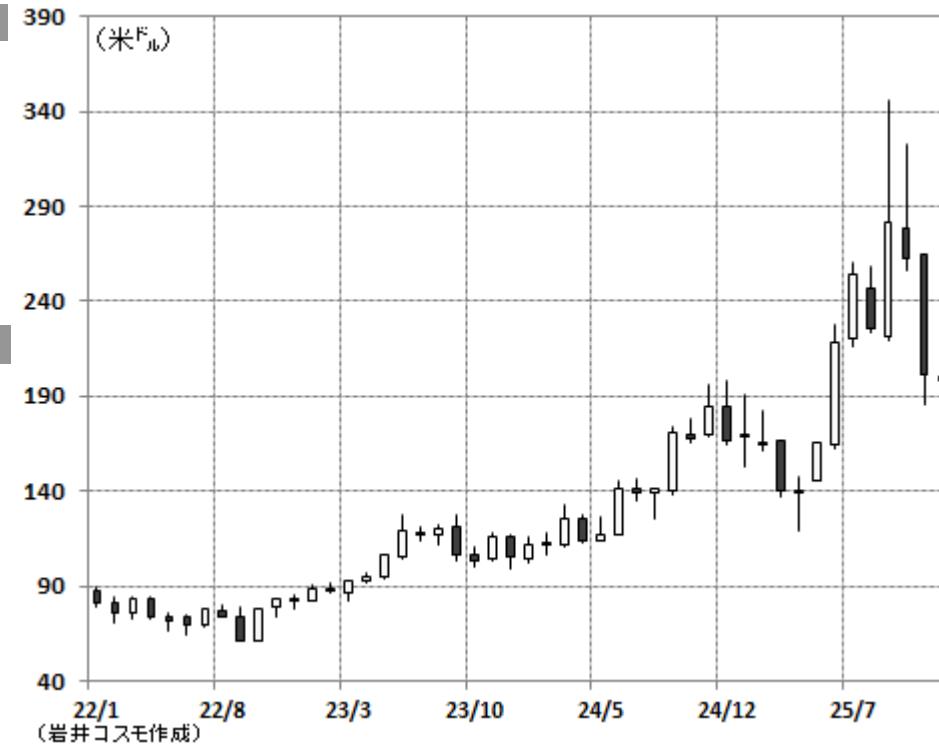
会社概要

1977年創業のマイクロソフトに次ぐ、世界2位のソフトウェア会社。法人向けデータベース管理システム(DNMS)が代表製品でデータ保護等の安全性や拡張性の高さが特長。2005年に基幹業務システムのピープルソフト買収後はM&Aを積極化、業務用ソフトを強化。2010年にサン・マイクロを買収、サーバー市場分野に進出。近年はサブスク型のクラウドサービスへのシフトを進める。創業者兼会長のラリー・エリソン氏が筆頭株主。

注目ポイント

□ **マルチクラウド戦略で大躍進**: オラクルはAWS等の大規模クラウド業者と連携を強化、顧客が複数のクラウド環境を円滑に統合・活用するソリューションを提供。自社の高性能データベースを他社クラウド上で直接利用できる様にし、効率性や耐障害性を高める取り組みが奏功する。

□ **クラウド受注が急増**: 11月末の受注残は前年同期比約5.4倍の5,233億ドルに急増、メタやエヌビティアの契約もあり、前四半期4,550億ドルからさらに積み上がった。インフラクラウド事業売上は同68%増収と高成長を記録した。ただ積極投資を捻出する高水準の有利子負債は懸念材料。経営陣は独自の調達手法やレンタルモデル活用により資金支出を抑制し、投資適格格付けの維持を確約した。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	197.99 (12/26)
52週高値(日付)	345.69 (25/09/10)
52週安値(日付)	119.01 (25/04/07)
時価総額	5,689億ドル 89兆0.650億円
株価変化率(%)	-5.8 (過去6ヶ月間) 17.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	36.0 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	19.0 (倍)
税前配当利回り(%)	1.01 (直近年率)
配当成長率(%)	18.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	70.6 (%)
株式ペーテ	1.39 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/05	52,961	6	15,353	17	10,467	23	3.71	1.60
2025/05	57,399	8	17,678	15	12,443	19	4.34	1.70

四半期業績

2025/Q2	14,059	—	4,220	—	3,151	—	1.10	0.40
2026/Q2	16,058	14	4,731	12	6,135	95	2.10	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

IBM(IBM)

上場市場

ニューヨーク

セクター

ITサービス

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピューターサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960～70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスピコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ハイブリッドクラウドとAIを強化: 2019年にオーフンソースソフト大手レッドハットを買収後、ITインフラ事業を分社化し、自社運用とクラウドを融合した「ハイブリッドクラウド」とAI分野へ経営資源を集中。また日本の次世代半導体企業ヒューリスクへの技術供与も行うほか、29年までに耐障害性量子コンピュータを構築するロードマップも発表。現在の主力事業を強化しつつ、次世代のコンピューティング分野でリーダーシップ確立を目指す。

□生成AIの受注増加: 7-9月期は市場予想の増収。ワトソンXやAIコンサル等の生成AI関連の累計受注額は9月末時点で95億ドル超と、3ヶ月で15億ドル超増加。新型メインフレーム「IBM Z」の投入効果も本格貢献、通期の増収率見通しを従来の5%から5%超へと引き上げた。



通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63
2024/12	62,753	1	5,797	-33	6,023	-20	6.43	6.67

四半期業績

2024/Q3	14,968	—	-802	—	-330	—	-0.36	1.67
2025/Q3	16,331	9	2,430	黒転	1,744	黒転	1.84	1.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ネットフリックス(NFLX)

動画配信サービス最大手、ワーナー買収で有力知的財産と制作ノウハウの取得を目指す

会社概要

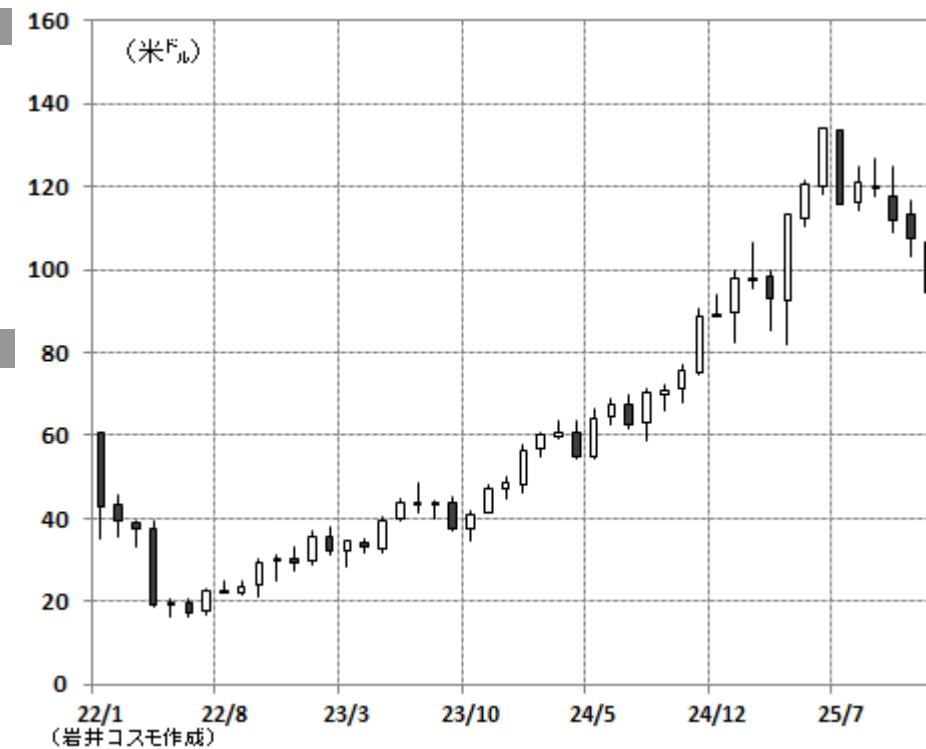
1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナル・コンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年末時点の会員数は全世界で約3.03億人。

注目ポイント

□ワーナー買収合意でメディア霸権へ：25年12月に、ワーナー・ブラザース・ディスカバリー(WBD)の映画・テレビ部門およびHBOを約827億ドルで買収することで合意した。WBD取締役会もパラマウントによる対抗案を退け、ネットフリックス案を公式に支持。世界最強のコンテンツライブラリを手中に收め、ストリーミング市場での圧倒的競争優位を画策する。だが、パラマウントの敵対的TOBは継続中で、買収合戦は幕を下ろしていない。

□当局承認のハードルも：ネットフリックスのM&A実現は長丁場の公算、パラマウントが断念しても司法省の規制審査のハードルが残る。最近はスピード強化に舵を切り、3月の年次経営会議で2030年までに時価総額1兆ドルを達成し、売上高を2倍にする目標が明るみに出ている。

上場市場
ナスダック
セクター
インターネットサービス



株価チャート (2022年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
2024/12	39,001	16	10,418	50	8,712	61	19.83	0.00

四半期業績

2024/Q3	9,825	—	2,909	—	2,364	—	5.40	0.00
2025/Q3	11,510	17	3,248	12	2,547	8	5.87	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

パランティア・テクノロジーズ(PLTR)

上場市場

NASDAQ

セクター

アプリケーション・ソフトウェア

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

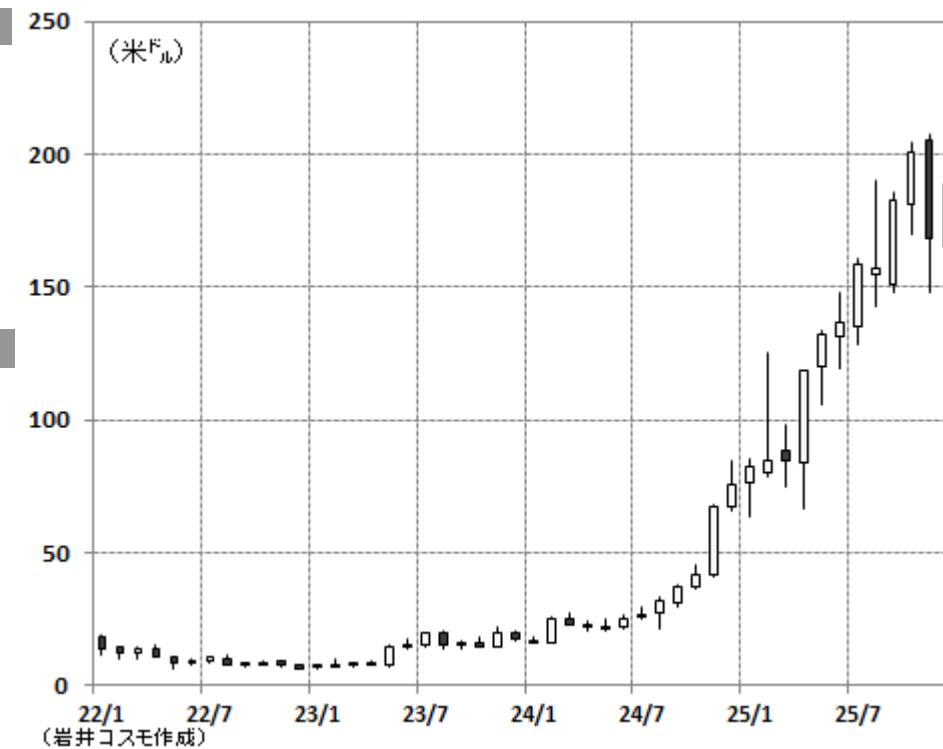
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カーフ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にNASDAQに鞍替え、翌12月にNASDAQ100指数に採用された。

注目ポイント

□**祖業はテロ対策**: 2008年に米諜報機関向け「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したことで知られる。現在は生成AIプラットフォーム「AIP」を核に展開し、西側の政府機関で採用が拡大。民間向け「ファウンドリー」は製造、金融、ヘルスケア等、世界の約90業界で導入が進み、顧客の意思決定を高度化している。

□**AIPが業績牽引**: 25年9月の顧客数は前年比45%増の911と急増中。AIプラットフォーム「AIP」が好調で顧客企業で開催する「プロトキャンプ」戦略が奏功し大型契約への移行が加速。米民間部門の成長が著しく、直近の決算でも顧客のプライベートな環境で安全にAIが活用できる「AIP」の需要を取り込み、収益加速が鮮明化した。



株価チャート (2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	188.71 (12/26)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	63.4 (25/01/13)
時価総額	4,496億ドル 70兆3,916億円
株価変化率(%)	44.3 (過去6ヶ月間) 138.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	449.9 (倍)
株価売上高比率	113.9 (倍)
PBR	68.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.8 (%)
株式ペーパー	1.92 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00
2024/12	2,866	29	310	159	462	120	0.19	0.00
四半期業績								
2024/Q2	678	—	105	—	134	—	0.06	0.00
2025/Q2	1,004	48	269	156	327	144	0.13	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

JPモルガン・チーズ(JPM)

世界有数のグローバル金融グループ、AI活用で高い資本効率、株主還元も積極化

会社概要

世界有数のグローバル総合金融グループ。投資銀行、証券取引、資金決済、資産運用、プライベートバンキング、商業銀行等の各種サービスを提供。機関投資家向け事業を「JPモルガン」ブランドで、中小企業・個人向け事業を「チーズ」ブランドで展開する。総資産、収益力、時価総額で世界屈指の規模を誇る。本社はニューヨーク市、従業員数は318,153人(25年9月末)。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□業界で一早くAIを活用: 同行はAIを業界内で一早く取り入れ、業務効率の向上、リスク管理の強化、顧客体験の改善等を通じて最終的にROEなどの資本効率の高さに貢献していると見られる。具体的に法的文書の分析自動化ツールによる費用削減や決済システム上の異常取引の感知、迅速な回答が可能なコールセンター運営等がある。

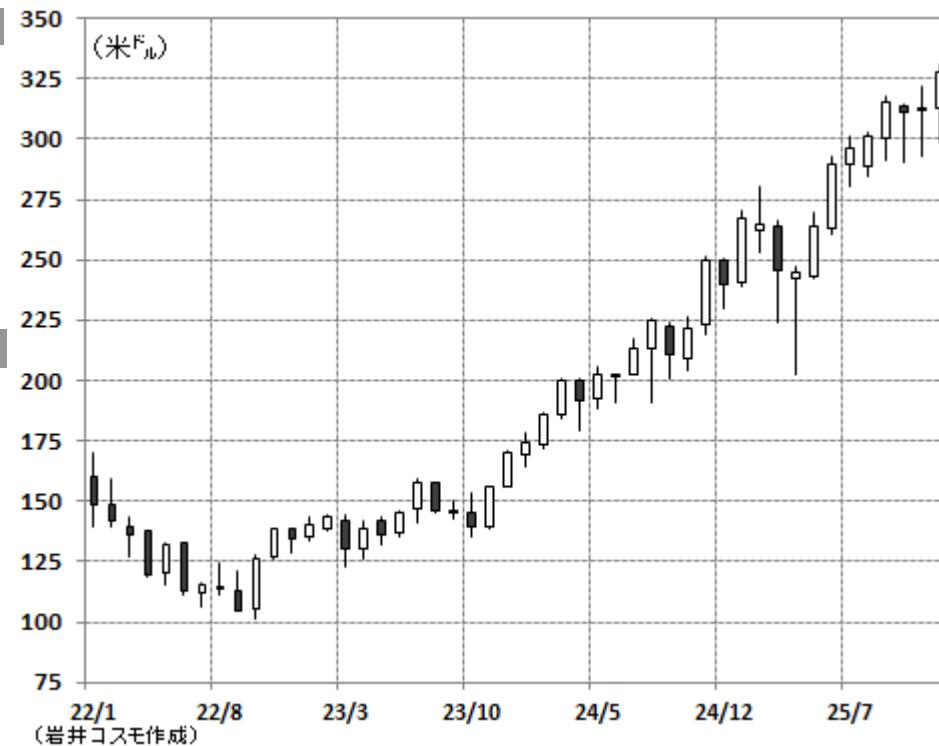
□今年も株主還元を強化: 7月1日のFRBストレステスト結果公表後、7.1%の増配(四半期配当1.40→1.50ドル)と、500億ドルの自社株買いを発表した。FRBは10月に同行に義務付けるストレス資本バッファード(SCB)を従来の3.3%から2.5%に引き下げる予定。資金運用等の面で経営の自由度が増す格好となる。

上場市場

ニューヨーク

セクター

総合銀行



株価データ

株価(米ドル)	327.91 (12/26)
52週高値(日付)	330.81 (25/12/26)
52週安値(日付)	202.16 (25/04/07)
時価総額	8,927億ドル 1,397,633億円
株価変化率(%)	14.2 (過去6ヶ月間) 36.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	16.3 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	2.6 (倍)
税前配当利回り(%)	1.83 (直近年率)
配成長率(%)	20.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.1 (%)
株式ペーテ	1.09 (対S&P500)

通期業績

決算期	純営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	158,104	23	61,612	33	47,760	33	16.23	4.05
2024/12	177,556	12	75,081	22	56,868	19	19.75	4.60

四半期業績

2024/Q3	42,654	—	16,978	—	12,898	—	4.37	1.25
2025/Q3	46,427	9	18,743	10	14,393	12	5.07	1.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ソーファイ・テクノロジーズ(SOFI)

銀行免許を取得し学生・住宅ローンを中心に急成長するフィンテック

上場市場

ナスダック

セクター

消費者金融

会社概要

米カリフォルニア州拠点のフィンテック企業。学生・個人・住宅ローンや銀行業務、投資、クレジットカード等の金融サービスを単一プラットフォームで提供。2011年創業。事業は貸付、テクノロジー・プラットフォーム、金融サービスの3部門で構成、AI活用を進めつつ若年層を中心に顧客を拡大。ソフトバンクGが出資(3.8%保有・上位株主)、21年にSPAC(特別買収目的会社)経由でナスダック上場。25年11月に暗号資産売買サービスを開始。

注目ポイント

□仮想通貨参入で多角化:銀行免許取得で自己資金による貸付が可能となり金利収益を最大化。テクノロジー部門では「Galileo」等を通じて他社に決済等の基盤システムも提供する。主力は個人・学生・住宅ローンだが25年11月に仮想通貨取引サービスを開始、銀行口座(SoFi Money)や投資(SoFi Invest)と合わせ金融エコシステムを拡充した。

□米政権の政策が追い風:トランプ政権下の税制で政府の学生ローンに上限が設けられ、柔軟な返済計画も廃止。これにより政府ローンが使いにくくなった学生等が民間の融資機関へ向かう可能性がある。根強い借入需要を背景に、同社の主力事業である学生ローン事業の追い風になっているとみられる。

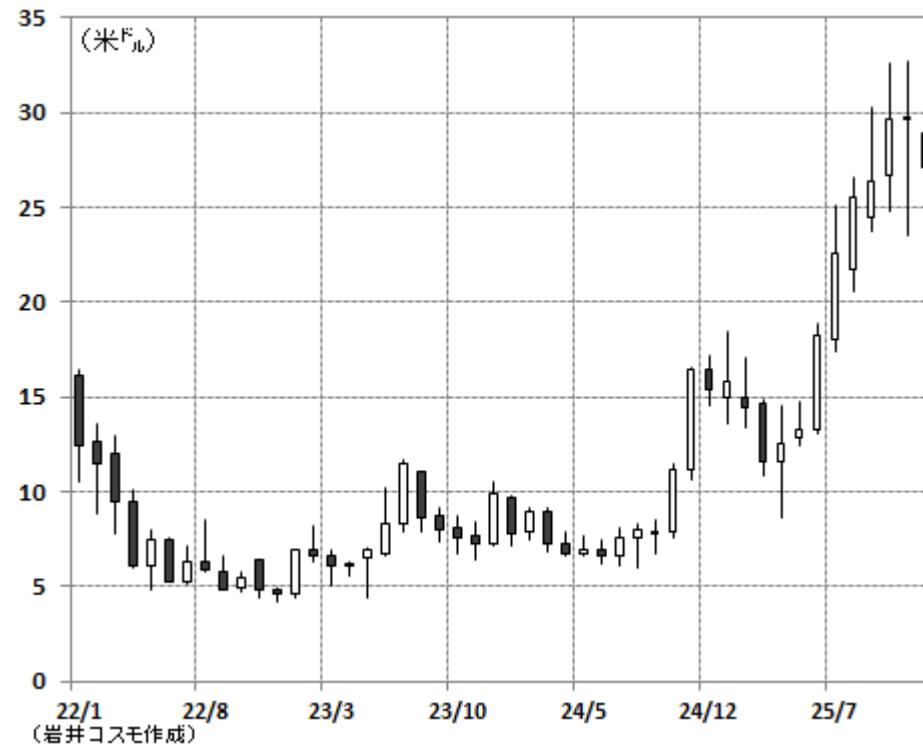
株価データ

株価(米ドル)	27.07 (12/26)
52週高値(日付)	32.725 (25/11/12)
52週安値(日付)	8.68 (25/04/07)
時価総額	341億ドル 5兆3,366億円
株価変化率(%)	57.6 (過去6ヶ月間) 69.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	50.1 (倍)
株価売上高比率	6.8 (倍)
PBR	3.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ペータ	1.88 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)



株価チャート(2022年以降・月足)

通期業績

決算期	純営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,123	35	-301	赤継	-301	赤継	-0.36	0.00
2024/12	2,675	26	233	黒転	499	黒転	0.39	0.00

四半期業績

2024/Q3	697	—	64	—	61	—	0.05	0.00
2025/Q3	962	38	149	2.3倍	139	2.3倍	0.11	0.00

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

配当による株主還元重視する米携帯電話加入件数首位の通信大手

会社概要

固定・携帯通信双方を手掛け、消費者とビジネス向けにサービスを開。同社は携帯加入者数首位で、TモバイルUS、AT&Tと並ぶ通信3強を形成。24年9月末の携帯端末(後払い方式)の契約件数は1.26億件。固定通信事業では消費者向けに音声通話・ネット回線等を法人向けにはデータセンター等も提供。本社はニューヨーク、社員数は約100,200名(25年9月末)。NYダウ工業株30種平均構成銘柄。

注目ポイント

□**サブスク格安選択プランを推進**: 料金体系「マイプラン」はサブスク選択制が好評で、プロードバンド通信でも展開中。一方、競争激化を受け25年10月、ペイパル元CEOのシュルマン氏が新CEOに就任。テクノロジーと通信の経験を生かし、契約者増と業務近代化の加速を図る。

□**19年連続増配は米通信業界最長**: 9月5日に増配を発表、米通信業界最長となる19年連続の増配となる。25年の設備投資は175億~185億ドルと高水準を維持しつつ、25年通年のフリー・キャッシュフロー見通しを約195億ドル超に引き上げるなど、潤沢なキャッシュ創出力を維持。引き続き配当による株主還元を重視する。

上場市場

ニューヨーク

セクター

無線通信



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	40.48 (12/26)
52週高値(日付)	47.355 (25/03/10)
52週安値(日付)	37.59 (25/01/10)
時価総額	1,707億ドル 26兆7,235億円
株価変化率(%)	-4.3 (過去6ヶ月間) 1.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	8.9 (倍)
株価売上高比率	1.2 (倍)
PBR	1.6 (倍)
税前配当利回り(%)	6.82 (直近年率)
配当成長率(%)	1.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.7 (%)
株式ペーテ	0.51 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	133,974	-2	22,877	-25	11,614	-45	2.75	2.6350
2024/12	134,788	1	28,686	25	17,506	51	4.14	2.6850
四半期業績								
2024/Q3	33,330	—	5,926	—	3,306	—	0.78	0.6775
2025/Q3	33,821	1	8,105	37	4,950	50	1.17	0.6900

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ファイザー(PFE)

上場市場

ニューヨーク

セクター

大手製薬

米製薬大手、新型コロナ関連依存から脱却、コスト削減計画を推進中

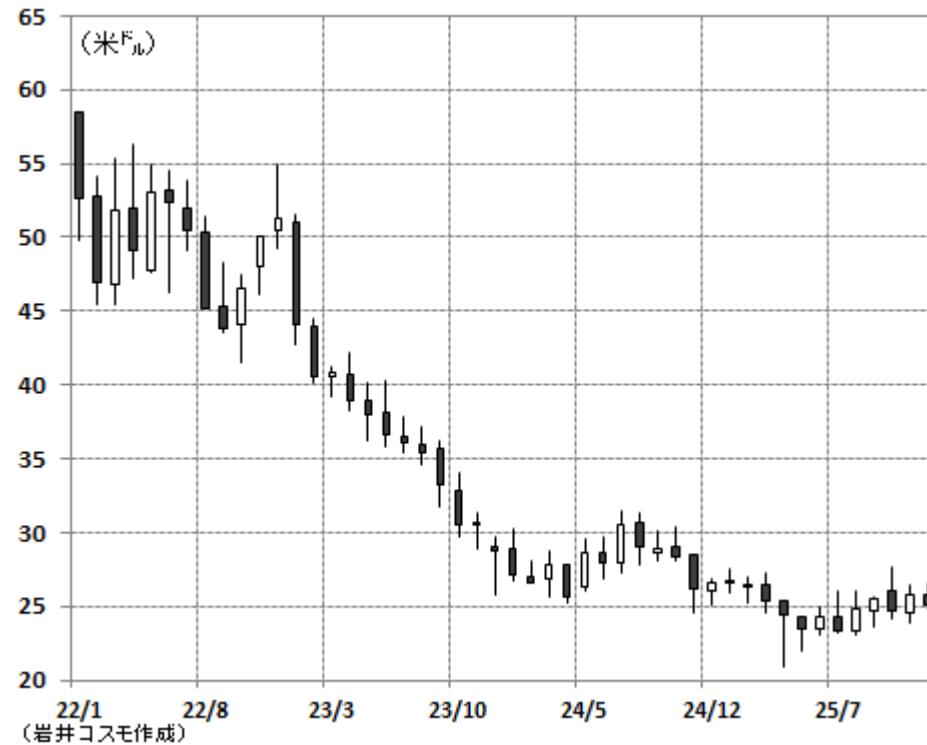
会社概要

販売力に定評のある米製薬大手。近年は新型コロナのワクチン、抗ウイルス薬で存在感を示す。M&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行し、2019年に消費者向けヘルスケア部門を非連結化、20年に特許切れ部門を分離し、新薬開発・販売に傾斜。23年12月には米シージェン社を買収、がん分野を強化した。本社は、ニューヨーク、社員数は約81,000名(24年末時点)。

注目ポイント

□**米政府合意と有効M&A**: 米政府の「TrumpRx.gov」を通じた薬価の引き下げに9月に合意、見返りに特定関税の3年間猶予を確保。11月にはメツエラの買収で合意、肥満症薬市場参入で前進した。

□**26年見通しを公表、慎重ながら不透明感払拭へ**: 12月16日に2026年通期の調整後1株利益見通しを2.80~3.00(市場予想3.05)ドル、売上高を595億~625億(同616.3億)ドルと発表。新型コロナ関連製品の需要減や一部製品の特許切れによる減収(各約15億ドル)を見込む慎重な内容も、2027年までの累計72億ドル超のコスト削減計画は順調に推移し、利益率の維持に注力する方針。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	25.09 (12/26)
52週高値(日付)	27.68 (25/10/03)
52週安値(日付)	20.915 (25/04/09)
時価総額	1,427億ドル 22兆3,354億円
株価変化率(%)	3.7 (過去6ヶ月間) -5.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	9.3 (倍)
株価売上高比率	2.3 (倍)
PBR	1.5 (倍)
税前配当利回り(%)	6.85 (直近年率)
配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.6 (%)
株式ペーテ	0.60 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	59,553	-41	1,058	-97	2,119	-93	0.37	1.65
2024/12	63,627	7	8,023	658	8,031	279	1.41	1.69

四半期業績

2024/Q3	17,702	—	4,715	—	4,465	—	0.78	0.42
2025/Q3	16,654	-6	3,334	-29	3,541	-21	0.62	0.43

原子力発電の米国最大手 マイクロソフトやメタに電力供給

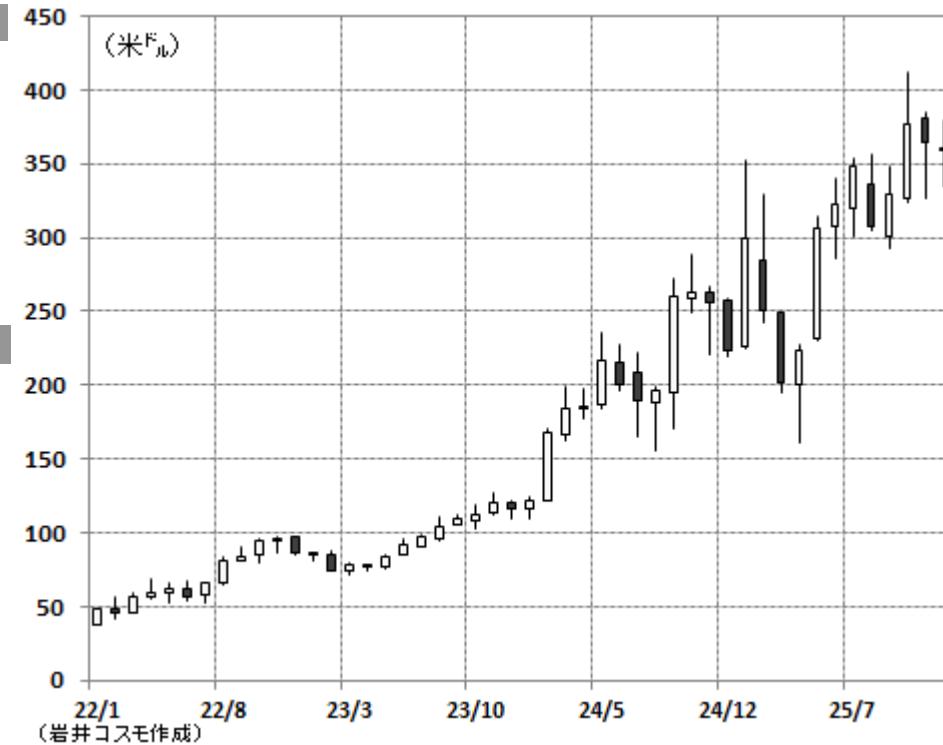
会社概要

米国の電力会社。2022年2月に米電力大手エクセロンから分離独立して誕生。原発保有では米国最大級。主要電源(発電能力の約9割がカーボンフリー)は、原子力、天然ガス、再生可能エネルギー(風力・水力・太陽光)などからなり、米国で生産される同エネルギーの約10%を供給する。事業エリアは米国48州やカナダ、英国等に広がり、発電能力は3,168万キロワット(1,600万世帯分)に達する。

注目ポイント

□原発施設保有は米国最大級: 独立系電力会社として全米各地に発電施設が点在、うち原子力発電能力はイリノイ州をはじめ合計約22ギガワット分あり、米国内最大規模を誇る。共同所有も含め14の原子力発電所の所有権を持ち、米原子力規制委員会から2030~40年代までの運転免許の更新を受け、長期の事業継続が可能。

□AI需要と原発活用: 急増するAIデータセンターの電力確保に向け、同社はマイクロソフト及びメタと20年間の電力供給契約に合意済み。MS向けにはスリーマイル島原発を再稼働させ、メタには稼働中のクリントン原発から供給する等、テック大手によるカーボンフリー電源の囲い込みが活発化。26年初には同業カルパインを買収し、規模を拡大する予定。



株価チャート(2022年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	360.46 (12/26)
52週高値(日付)	412.58 (25/10/15)
52週安値(日付)	161.52 (25/04/07)
時価総額	1,126億ドル 17兆6,313億円
株価変化率(%)	12.6 (過去6ヶ月間) 59.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	38.9 (倍)
株価売上高比率	4.5 (倍)
PBR	7.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.43 (直近年率)
配成長率(%)	10.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.3 (%)
株式ペータ	1.53 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	24,918	2	1,610	225	1,623	黒転	5.01
2024/12	23,568	-5	4,352	170	3,749	131	11.89
四半期業績							
2024/Q3	6,550	—	1,645	—	1,200	—	3.82
2025/Q3	6,570	0.3	1,395	-15	930	-23	2.97

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

取引注意事項

商号等：播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265%（税込み、ただし最低2,750円）の委託手数料をご負担いただきます。
- ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金（円貨）が7.5万円以下の場合は11.0%（税込）、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円（税込）、50万円超の場合は最大で（約定代金の1.00%+2,500円）×1.1（税込）の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
- ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。

販売手数料（購入価額に対して最大3.85%（税込））

信託財産留保額（換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%）

信託報酬（信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%（税込））

その他、ファンドの監査費用等

◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

○当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

○当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。

※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。

○当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。